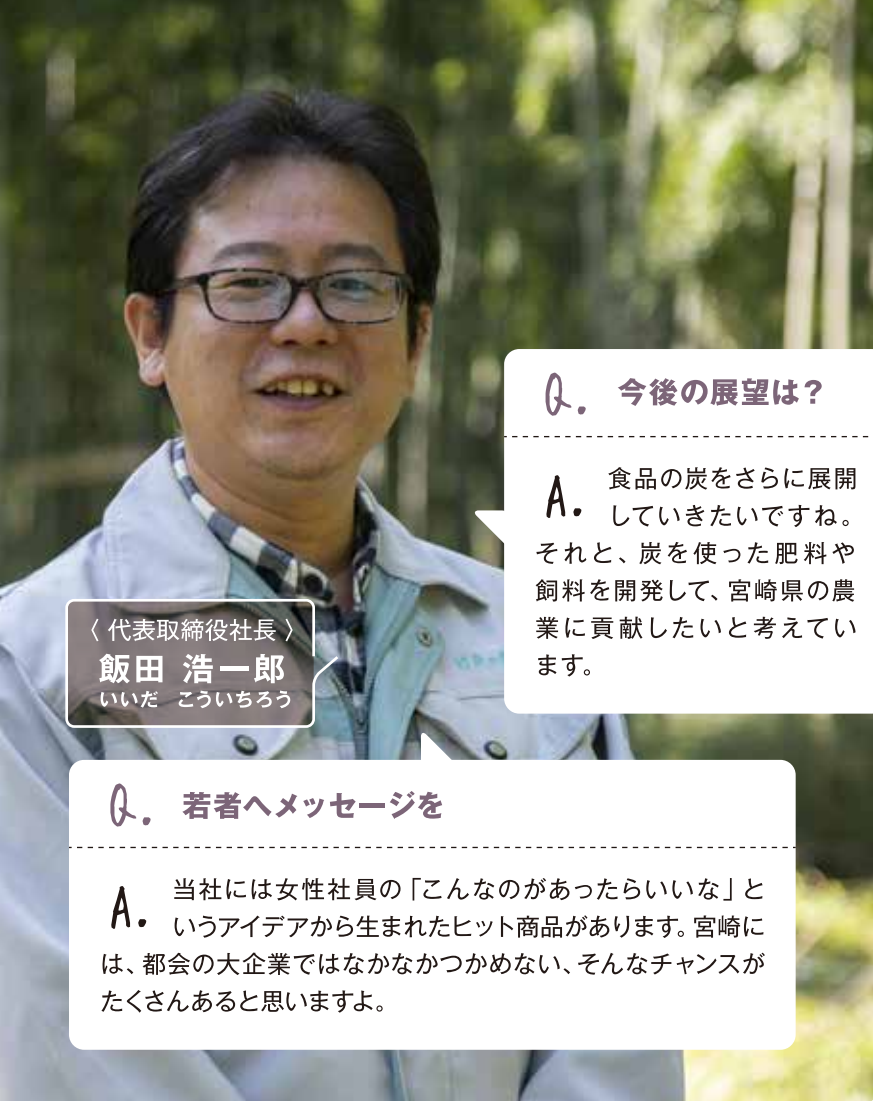




〈代表取締役社長〉
飯田 浩一郎
いいだ こういちろう

Q. 今後の展望は？

A. 食品の炭をさらに展開していきたいですね。それと、炭を使った肥料や飼料を開発して、宮崎県の農業に貢献したいと考えています。

Q. 若者へメッセージを

A. 当社には女性社員の「こんなのがあったらいいな」というアイデアから生まれたヒット商品があります。宮崎には、都会の大企業ではなかなかつかめない、そんなチャンスがたくさんあると思いますよ。



窯から発生する煙を液化した後、蒸留されます。

影になる部分



専用の土窯で焼きあげられる上質な竹炭は食用にも用いられます。

これまで手作業だった充填作業を機械化することで生産効率が格段に高まりました。



国内において減圧蒸留で精製されている竹酢液商品は極めて少なく、価格・品質共に優位性があります。

有限会社 竹炭の里

減圧蒸留器で 労力もコストも半減 海外への販路拡大へ

竹酢液精製の工程削減と品質向上、そして作業効率化のために『減圧蒸留器』『充填機』『熱圧着機』を導入。主力商品である竹酢液配合化粧品品の量産体制を確立させました。



竹炭の里がある国富町には竹林が多く、有限会社竹炭の里の社屋周辺には4haもの孟宗竹の林が広がっています。その竹を最高1000℃の高温で焼くことで、高品質の竹炭を生産しています。

竹酢液は竹を焼く際に発生する煙を液化、蒸留したもので、竹酢液を配合した化粧品は同社主力商品の一つです。

「化粧品に竹酢液を使うには、化粧品基準に適合する純度が求められるのですが、その鍵を握るのが蒸留工程です。これまでは常圧蒸留器を使っていたのですが、不純物を取り除くために蒸留工程を二度行う必要があり、生産に限界がありました」

その課題を解決するために同社が導入したのが、より早く、しかも高純度の竹酢液を

減圧蒸留器に切り替えて コストも労力も半分に

抽出できる『減圧蒸留器』です。「これまでの常圧蒸留器では、二度蒸留しても、うっすらと茶色がかった竹酢液しかできなかったのですが、減圧蒸留器だといち度で無色透明になるんです。それだけ高純度な竹酢液を、半分の労力とコストで精製できるようになったのですから、それは大きいです」

同社では減圧蒸留器に合わせて、『充填機』と『電動シーラー』を導入。二人が手作業で行っていた充填作業を一人でできるようになりました。1時間当たりの充填本数が3倍に増加しました。

「新設備の導入によって、竹酢液配合化粧品を大量に生産できるようになり、競争力を強化できました。今後は国内市場はもとより、海外への販路も開拓していきたいです」



ものづくり補助金活用 **ココ** がポイント!

環境にやさしい 詰替用商品も製造可能に

電動シーラーを導入したことで、充填作業が効率化されただけでなく、環境にやさしいパウチタイプの詰替用商品の自社製造が可能に。商品開発の幅が広がりました。



case **24**
竹炭・竹酢液製品の製造・販売
有限会社 竹炭の里

〒880-1224
宮崎県東諸県郡国富町大字深年3845番地13
TEL 0985-78-1485